

施策番号 2-2-2	施策名 地域資源を活用した観光の振興	基本目標	豊かな自然を生かした活力ある農業のまちづくり		
		政策名	農業と連携した活力ある商工観光の振興		
主管課 施策関係課	商工観光課	課長名	佐藤三舟	内線	411

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果		
観光スポットの認知度向上を図るとともに、地域資源である「農業」や「食」「景観」などを活かした観光振興をすすめます。		町外観光客 観光資源(観光スポット)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活かした観光が図られる</li> <li>・観光スポットが認知される</li> <li>・観光による経済効果の拡大が図られる</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・芽室町が道内・国内・海外に発信される</li> <li>・交流人口の増で消費の拡大につながる</li> </ul>		
成果指標	説明	単位	年度(策定時)	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)		
① 芽室町への観光入込客数	十勝総合振興局まとめ	人/年	204,100.0	208,700.0	200,700.0	216,700.0	216,700.0		
② 芽室町観光物産協会ホームページアクセス数	観光物産協会調査	件/月	3,000.0	2,400.0	2,300.0	4,000.0	4,000.0		
③ 新嵐山スカイパーク利用者数	商工観光課調べ	人/年	506,400.0	416,800.0	479,250.0	510,000.0	518,000.0		
成果指標設定の考え方	①観光の振興するための目安となる成果指標に設定 ②観光のPRを図るうえで必要な成果指標に設定 ③本町最大の観光地である新嵐山スカイパークを振興するため成果指標に設定								

2. 施策の事業費

	27年度決算	28年度決算
施策事業費(千円)	130,823	236,295
人工数(業務量)	2,1996	1,9407

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察		
①平成28年度の成果評価(前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由 ①は昨年の天候不順により「愛菜屋」の来客数が減少したことが主な要因②HPのアクセス数が減少しているが、ふるさと納税返礼業務により、町のPRに貢献している③早期の降雪によりスキー客の増と営業戦略の見直しにより後半の宿舎の来客数が伸びている。また、障がい者1名を雇用し、就労キャリア教育観光事業を推進した。
②平成30年度の目標値達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由) ・地域資源を生かした観光・物産振興を図る組織である観光物産協会の体制強化・経営安定のため自立へ向けた支援を継続する。 ・本町最大の観光地である新嵐山スカイパークの適切な施設管理を行い、利用促進の取組みとして、就労キャリア教育観光事業を推進していく。
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	芽室町観光物産協会運営支援事業 新嵐山スカイパーク運営支援事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業
③事務事業全体の振り返り(総括)	・観光物産協会に委託しているふるさと納税返礼事業により、本町の特産品を選定・発送し、町の魅力発信につながっている。 また、道東道十勝平原SAでの特産品販売が本町PRの重要拠点となっている。 ・新嵐山スカイパークメムロススキー場の老朽化した人工降雪設備(送水ポンプ・パイプライン)の更新を実施した。 ・利用者増の取組みとして、就労キャリア教育観光事業を推進し、そのアテンド役として障がい者を1名雇用了。	

**(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果**

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

**4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等**

施策を取り巻く状況と今後の予測	団体旅行が減少し、インターネットによる観光情報の入手が容易になり、個人ニーズに合致した観光の多様化が求められている。また、体験型観光のニーズの高まりを受け、十勝をアウトドアによる観光の振興するためのDMO「ディスティネーション十勝」が設立された。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	新嵐山スカイパークの今後の方向性 国民宿舎新嵐山荘の老朽化

**5. 施策の課題認識(現状の課題、新たに取り組むべき課題)**

課題①観光物産協会の体制強化	ふるさと納税返礼品受託事業の魅力ある特産品の検証を進めていく。また、物産事業において、イベント内容を精査し、収益につながる事業に特 化しながら取り組む。
課題②地域資源を生かした観光振興	本町ならではの食と景観を発信する手段として、サイクルツーリズムの推進に取組み、人的交流の促進をはかる。
課題③新嵐山スカイパークの利用促進	老朽化が進む新嵐山スカイパークの施設・設備の計画的な修繕、更新を進め、就労キャリア教育観光事業を一層推進し、特別支援学校の修学旅行誘致に向け広報活動を実施し集客に努める。

**6. 総合計画推進委員会(庁内評価)**

評価	芽室町観光物産協会や新嵐山スカイパーク運営の支援を通じた、行政課題の解決を進めており前進していると評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	継続支援するとともに、サイクルツーリズムなどの新たな取り組みをすすめてもらいたい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した				

**7. 総合計画審議会(外部評価)**

評価	サイクルツーリズムなど新たな取り組みも実施しており、前進したと評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サイクルツーリズムについて、人から人へと芽室の魅力が伝えられていくような仕組みがあると良い。</li> <li>●観光物産協会のホームページの更新がされていないため改善してほしい。</li> <li>●嵐山は魅力的で有効な観光資源であるので、大変かもしれないが予算をかけて整備していくべき。</li> </ul>	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した				